

祭 事 暦

5月1日・20日午前8時30分

月次祭

5月5日 国府祭

午前8時00分 社頭発興
 正午 古式座問答 神捕山
 午後3時40分 神対面の儀 大矢場
 午後7時30分 社頭還幸



相模

発行所
 寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 前島 正
 印刷所 樹さんこうどう




鎮守の森

（町内の或る氏神様の境内、大きな樟の下にあるベンチに腰掛ける老夫婦、五月四日の午前中、空は快晴でポカポカ暖かい）

「鯉のぼりが気持ち良さそうに泳いでいますね。」

「明日も良い天気になりそうだから境内に集まる子供達も楽しい一日になるだろうね。」

「うちのひ孫達もパン食い競走楽しみにしているみたいですよ。」

「境内に子供達の声が響き渡るのはいいね。心がウキウキして若返るようだ。」

「私達も寒川神社のご本殿で結婚式を挙げていただいたから六十年経ちますね。あの頃は私達も元気ハツラツでしたよ。」

「子供が生まれて庭に鯉のぼりの竿をじいさんといっしょに建てたっけな。」

「うちもいつの間にか孫とひ孫合わせて三十人を超えましたね。大変でしたけど、みんな良い子に育ちました。」


「総代さん達が明日の子供の日の行事の準備に來ているけどみんな自分が子供に戻ったように楽しそうだな。寒川神社も明日は国府祭だからいそがしいね。早起きしてお神輿が通るのをお見送りたい。」

「ちょっとお腹が空きましたね。十字路のお菓子屋さんでお柏を買って帰りましょう。あその柏餅は絶品ですからね。うちの家系がいつまでも続くように縁起物をいただきますよ。」

「あと何年こうして二人で神社にお参りできるかな。」
 「何をいつてゐるんですか。百歳にもならないです。まだまだ私達は子供みたいなものですよ。神様にお守りください。子供達にご先祖様のおかげで元気で幸せに暮らせるんだって教えてあげないとね。」

（夏も近づく八十八夜 野にも山にも若葉が繁る...）

（石黒邦彦）



祝祭日には
 国旗を掲げましょう

年参講大祭齋行

四月五日・六日の二日間に亘り、恒例の年参講大祭が齋行されました。

この祭典は寒川町内の氏子を始め各地区の講社団体の方々が、境内に咲き誇る桜花を愛でつつ参拝し、日頃の御神恩に感謝の念を捧げると共に、御神楽を奉納して地域の安全と講員の無病息災を祈念するお祭りです。本年は桜の開花時期が合致し、満開の中での祭典齋行となりました。

二日目には、宮山地区の



方々が参拝され、疫病等が流行しないよう祈願する衛生祈禱祭も併せて執り行われました。



昭和祭齋行

先帝昭和天皇御生誕の日である四月二十九日は「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み国の将来に思いをいたす」の趣旨にて、平成十七年国民の祝日に関する法律改正により「昭和の日」となり平成十九年に施行され



午後には宮山総代による奉納演芸大会が開催されカラオケ大会では氏子有志の方々の自慢の歌声が披露されましたが、次第に雨脚も強まり、残念ながら舞踊の部は中止されました。

現在に至ります。

当日は早朝に、職員全員参列のもと「昭和祭」を齋行し、常にも国民と苦楽を共とし、日夜国民の幸福を願われた、昭和天皇の大御心を拝し、皇室の弥栄と国家・国民の平安と繁栄を祈念いたしました。

相模國式内社の会 式内社巡拝会実施

相模國式内社の会では恒例の巡拝会を、去る三月二十六日に実施致しました。ここ数年は、県外の式内社を訪ね、研修しておりましたが、今回は、会員である大山阿夫利神社と高部屋神社が御本殿等を改修された事もあり、県内二社を巡拝致しました。

始めに大山阿夫利神社を正式参拝し、目黒宮司様より神社の由緒や講社参拝の歴史と先導師(御師)の役割等をご説明頂きました。



高部屋神社

その後、大山寺を参観し檀家のいないお寺の護持運営の方策を伺い、また先導師でもある目黒宮司様の旅館にて昼食を頂き、講社参拝時に於ける宿泊の雰囲気味わいました。

午後は、屋根が葺替えられ奥ゆかしさが増した高部屋神社を参拝、氏子の方より萱の調達や職人確保の苦労話や、現用資材を出来得る限り再利用した事が伺え参加者一同感銘を受けつつ巡拝会も無事終了、次回を期待し散会致しました。



大山阿夫利神社

五月五日

国府祭御神幸時間のお知らせ

この祭典は「ここのまち」とも呼ばれ、大磯町国府本郷の神揃山に相模国一之宮寒川神社・二之宮川勾神社・三之宮比々多神社・四之宮前鳥神社・平塚八幡宮の神々が神輿にて参集し、古式「座問答」が行われます。その後大矢場にて神対面の儀・国司奉幣の儀が行われます。

神幸時間表

五月五日(月)

- 七〇〇 諸員参集
- 七二〇 遷霊祭
- 七五〇 発輿祭
- 八〇〇 社頭発輿
- 九〇〇 平塚通過
- 一〇三〇 神揃山祭
- 一一〇〇 古式「座問答」
- 一一三〇 神揃山発輿祭
- 一二〇〇 神揃山発輿
- 一三〇〇 大矢場着御
- 一四〇〇 神対面の儀
- 一五〇〇 国司奉幣の儀
- 一六〇〇 大矢場発輿
- 一九三〇 社頭還幸



座問答



▲ 神揃山に向かう神輿



▲ 国司奉幣の儀

第四十五回 相模新能 演目決定

当神社では、終戦記念日である八月十五日に、先の大戦で祖国の平和を願いつつ尊い命を捧げられました英霊への慰霊と世界の恒久平和を祈り、毎年「相模新能」を開催しております。本年は第四十五回記念として、寒川神社少年館の館生が能に稚児役として出演します。

館生達の名演にもご注目下さい。尚、申し込み方法等の詳細は、次号にてお知らせ致しますので、ご参照頂きますようお願い申し上げます。

〔演目〕
能 江野島
能 中森 貫太ほか
狂言 口真似
能 野村 萬斎ほか
能 鞍馬天狗
能 觀世 喜正ほか

〔開演日〕
平成二十六年八月十五日(金)
午後五時半予定

〔場所〕
寒川神社境内特設能舞台



◀ 狂言「口真似」
<写真撮影：政川慎治>



能「鞍馬天狗」



▲ 能「江野島」



内庭石張り工事始まる

現在内庭には玉砂利が敷き詰められておりますが正月など参拜の方が大勢おみえになる時期には、段差が生じ危険な事もある他砂塵による悪影響が懸念される為、この度すべて石張りに改修される事となり去る四月一日に清祓式が執り行われました。

また、車椅子の方にも寶錢箱の前にて参拝して頂けるよう、西側より向拝前にかけて新たにスロープを設置致します。

これに先がけ行われました御神木の移植作業は、無



石張り工事風景

事南側に移植され、養生が行われている所で、すべての工事が完了するのは七月末を予定しております。御参拝の方々には大変ご不便とご迷惑をお掛け致しますが、何卒、ご理解ご協力をお願い致します。



新設されるスロープ



養生中の御神木

浦安の舞 講習会開催

神社音楽協会の先崎径子先生をお招きし、浦安の舞講習会を開催致しました。浦安の舞は皇紀二千六百年（昭和十五年）を奉祝し作られた舞で、各祭典の折御神前にて奉奏されます。

また、末社御祖神社の祭典にて舞われる榊舞も御教授頂きました。榊舞は美しい自然に感謝し守り伝えようと願う舞です。受講生は先生の指導の下舞に対する心構えを再認識し、実りある講習会となりました。



神嶽山神苑

行事案内

神楽舞と雅楽の奉奏

五月 六日(火)・十一日(日)
十八日(日)・二十五日(日)

午前十一時と午後二時
※十八日は午後二時のみ
約二十分間(雨天時は中止)



◆茶室直心庵 毎月一日に限りお茶席あり

本格的な茶室で一服いかがですか

- ・午前十時三十分一席 ・午後一時三十分一席
- 一席八名様まで先着順 お気軽にごどうぞ

※入苑券を持参の上ご来苑下さい



第四十六回 写真展入選作品 仁藤茂一様

大祓

大祓式並茅の輪神事

六月三十日〔月〕

午後二時斎行

茅の輪をくぐり
身についた罪穢を
祓い清めましょう

第六十四回 観桜駅伝競走大会開催

優勝チームへ一之宮賞を授与

寒川町・寒川町体育協会
主催による「第六十四回観



桜駅伝競走大会」が四月六日に開催されました。

桜花満開ながらも小雨降る肌寒いコンディションの中、寒川神社前をスタートした七十八チームの選手達は、参道に咲く桜のトンネルを勢い良く駆け抜け、練習の成果を発揮した藤沢近未来チームと松浪中Aチームが見事一之宮賞(第二・三部優勝)に輝きその栄誉が称えられました。

寒川俳壇 年間最優秀句決定

一之宮賞を授与

社報「相模」に毎月四季折々の俳句を献じられております寒川俳壇の年次総会が、三月二十七日に行われその席上にて本年度の優秀句が発表されました。

最優秀句には、日本全国

各地からの年賀状が束にされ届く様を、見事に表現された菅沼保幸氏の句が選ばれ、当社より一之宮賞が授与されました。



一之宮賞(最優秀賞)
列島を一つに束ね

賀状来る
菅沼 保幸

第四十四回
学齢児図画展
開催

四月一日より十日にかけて学齢児図画展が開催されました。

この図画展は、今春小学校へ入学する児童たちの健やかな成長を願い、創造性独創性を助長する事を目的として毎年行われており本年も回廊には寒川さくら幼稚園・倉見幼稚園・一之宮相和幼稚園の卒園児が描いた、感性溢れる作品一五〇点が展示され、訪れた参拝者の目を楽しませてくれました。



神前結婚式ご案内会

5.25 日曜日 10:00~16:00
レストランチケット付!

- 10:00~ 衣裳・美容体験 (記念写真プレゼント)
- 11:00~ 挙式セミナー
- 11:20~ 奉告の儀 (記念写真プレゼント)
- 12:00~ 模擬挙式
- 12:40~ 披露宴セミナー

各種相談コーナー
人力車無料試乗体験
カラーコーディネート展示
随時開催しております。
お気軽にご相談ください。

要事前予約

◆都合により催し方が変更する場合がございます。ご了承ください。

寒川神社第2駐車場
鎮守の杜 **Koyo** (紅葉)

売店にはお土産や贈答品を取り揃え、レストランでは軽食と飲み物をご用意しております。ご参拝の折には、ぜひお立ち寄りの上、和やかな時間をお過ごしください。

2階レストラン5月定休日
8(木)・14(水)・19(月)・26(月)
※1階売店は年中無休

◆青少年活動だより

寒川神社少年館

入館奉告祭・入館式

境内の桜も満開となった四月二日(水)、新入館生三十名を迎えて入館式が執り行われました。

一年生二十四名・二年生五名・三年生一名が、新しい服装でご父兄に付き添われ、先ず寒川神社本殿にて入館奉告祭が斎行されました。少年館での活動の無事を祈念する祝詞が奏上され緊張した面持ちで玉串を捧げ全員一緒に参拝しました引き続き少年館ホールに



GS神奈川県第四十五団



GS神奈川県第四十五団 ——フライアップ式・巣立ち式——

四月二十日、スカウトハウスにてフライアップ式・巣立ち式を行いました。

今年には六名のフライアップ一名の巣立ちを迎えました一番下の部員からフライアップしたスカウトは真新しい制服に切り替わり初々しい姿で歌いました。

巣立つスカウトは、今までの思い出やこれからの夢を語ってくれました。スカウト達それぞれの目



館長先生より記念品を頂く入館生

化や芸能に触れながら、豊かな心を育んでくれることと思います。

標に向かうスタート日になりました。



B.S.寒川第二団

——ボーイズ春季キャンプ実施——

三月二十八日から三十日にかけて、南足柄市の夕日の滝にて春季キャンプを実施しました。今回は「切磋琢磨」のテーマの下、スカ



金時山より富士山を臨む

ウト同士お互い助け、競い合いながらテント設営や炊事等スカウト技能の向上を目指しました。

二日目には金時山をハイキング。疲労を感じつつも山頂から勇壮な富士山を臨む事が出来、登頂の達成感に浸る事が出来ました。

最終日は豪雨に見舞われ視界も足場も悪い中での撤営でしたが、確実に行い、悪条件の中でも対応出来ました。今回の経験を今後の活動に生かして貰う事を期待します。

ボーイスカウト寒川第2団 もちつき・バザー大会開催

とき 5月3日(土) 9時~14時 雨天順延
ところ 寒川神社 馬場

あったか! つきたて!
あんこ・きなこ・からみ
大福・よもぎ餅
販売致します。



~つき手飛び入り大歓迎~



ボーイスカウト
募集中!

スカウト1日体験入隊コーナー開設
同日10時~12時



寒川病院だより

☎0467(75)6680 寒川町宮山193
http://www.samukawabyouin.com



4月から診療表が変更になりました。

寒川病院 診療表		月	火	水	木	金	土
内科	午前	1診 栗田啓司	武村文夫	栗田啓司	清水雄介	栗田啓司	鳴海裕之
		2診				円谷斉子	武村文夫 1,3,5週 栗田啓司 2,4週
	午後	3診	鳴海裕之	鳴海裕之	武村文夫	清水雄介	円谷斉子
神経内科	午前						
	午後		栗田啓司				
呼吸器内科	午前	石田正之 2,4週(予約)					
	午後	石田正之 2週(予約)					
リウマチ科	午後			内山光昭			
糖尿病内科	午前	武村文夫	丸山真弓	丸山真弓	武村文夫	丸山真弓	
	午後					宮武 範	
循環器内科	午前		干場泰成				神田茂孝
	午後						
外科	午前	1診 木勢佳史	原 正	徳田裕(乳腺)	原 正	宮北寛士	原 正 1,3,5週 木勢佳史 2,4週
		2診		石田秀樹	岡村卓穂(乳腺)	劉孟娟(乳腺)	
	午後	1診 原 正	鍋島一仁	15時30分まで担当医	木勢佳史	木勢佳史	
	2診				岡村卓穂(乳腺)		
脳神経外科	午後					富永二郎	
皮膚科	午後	太田多美	倉繁祐太	川井麻友	渡辺絢子		
泌尿器科	午前						
整形外科	午前	1診 赤塚正洋	赤塚正洋	赤塚正洋	金 俊男	赤塚正洋	赤塚正洋 2,3週 江口英人 1,4,5週
		2診				岡崎 敦 1,3,5週 竹元 暁 2,4週	
	午後	赤塚正洋	休 診	坂口 彰	金 俊男	岡崎 敦 1,3週 竹元 暁 2,4,5週	
眼科	午前	木勢由利子	木勢由利子	小林綾子	保科真理	木勢由利子	及川哲平 1週 木勢由利子 2,4週 嶋村慎太郎 3週 休診 5週
	午後	木勢由利子	中川喜博	及川哲平	鈴木崇弘	鈴木崇弘	
耳鼻咽喉科	午前	太上麻由里	太上麻由里	太上麻由里	太上麻由里	小田桐恭子	太上麻由里
	午後	太上麻由里	厚見 拓	太上麻由里	太上麻由里	関根基樹	
内視鏡	午前	原 正	鳴海裕之	荒瀬吉孝		木勢佳史	木勢佳史 3週 原 正 4週
	午後	木勢佳史	原 正			鳴海裕之(2,3週)	

人事

◆新採用

△新社員
山縣 祐子

◆退職

△退職
奥川 優子

今月の木札



果てしなく澄み渡る青空を優雅に泳ぐ鯉のぼり。大空の様な大きな心を持ち、まだ見ぬ新天地に向い元氣よく歩き出したい。

月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です

医療講演会のご案内

と き 平成二十六年五月八日(木)

ところ 寒川神社参集殿 入場無料(申込不要)

内容 「高脂血症(脂質異常症)について」

講師 内科医長 武村文夫

問合せ 電話 〇四六七(七五)六六八〇 寒川病院

冬川俳壇

放されて牧場の風となる仔馬
 花の雨歌碑に鱗のごとく付く
 花吹雪浴びて邇上の屋形船
 苦も楽も共に刻むや花の家
 あるかなき風に知覧の桜散る
 白蓮の翔つかに朝の光りかな
 変わる世も変らぬ人の花の宴
 届きたる娘の制服や花の昼
 思ひきり膏張つてある春キャベツ
 春一番赤い上衣の郵便夫
 山里は氏子少なく春祭り
 始業式桜吹雪のお出迎え
 菜の花や目久尻川の犬走り
 花吹雪散り込んで来る仮舞台
 振り返り又ふりかえる桜道
 家中で同じ仕事の日永かな
 牛小屋に鶏舎に桜吹雪かな
 完全に雨となりたる花の昼
 花冷や待ちかねし会を變更し
 風鐸の静かに揺れる花の寺



- 松本美智子
- 飛石 樞花
- 根岸 君子
- 宮入 つる
- 芹澤 徳光
- 金指 月光
- 岩田美代子
- 菅沼 保幸
- 山本 朝子
- 四ツ車梢月
- 菅沼つめの
- 原野 楽天
- 松村 信篤
- 伊藤 公一
- 倉谷 節子
- 皆川志んご
- 金子 つち
- 竹村真砂美
- 三輪 恭子
- 天沼 子平

五月 手水舎奉揚

ふり仰ぐかの大空の あさみどり

かかると心と 思し召しけむ

皇后陛下御歌

相模詠草

豪雪は一四〇年ふりとふその深き雪にいだかれ姉逝きませり
 青空にくつきり浮ぶ阿夫利山夕陽に映ゆる景の美しく
 口先をとがらせ幼がつなげたるクリップ一つほぐしてつかふ
 重き雪支えきれずに幹折れる夫が愛せし日本石楠花
 歌があり花があるから生きられる 齡重ねてしみじみと今
 施設での三月生まれの誕生会百歳の夫の祝われており
 ちらしずし難段に供う母の味今年も折れる孫の成長
 無残なり鉢植えの梅整えし枝折れ曲がり雪に埋まる
 隣近所手と手を取り合い雪かきす吐く息白く会話も弾む
 北風にあおられ狂う雪つづて庭の草木をめぐけて繞まわ
 孫翼スーツ姿にピアノ弾く発表会祝く白雪の降る
 結弦君も葛西選手も真央ちゃんも競技が光るスピーチも光る
 音もなく降り積る雪に俯むきてクリスマスローズ花じつと耐え
 降る雨にすつぱり埋まり耐えている「パンジーあなたは本当につよい」
 寒さにも季節は違わず廻りくる梅の花散り木の芽ふくらむ
 晴れの日のご馳走たりし散らし鮎手作り供ふ母の命日



- 平澤まさえ
- 三留とく子
- 堀江 照子
- 宮治友美枝
- 徳江 道子
- 宇田川時子
- 土屋トミ子
- 浜田 寿子
- 山口 幸子
- 山根喜美代
- 亀山 文子
- 安藤 慧
- 川島恵美子
- 天利 春枝
- 岡元 芳子
- 杉本 照世

表紙写真説明

御分霊である守公神を総社に納め奉る、神対面の儀

編年集地

「子供の日なのに何故言う事に聞いてくれないの?」と

息子が私に訴えかけてきた理屈で諭しながらも、幼い頃抱いた同じ想いにノスタルジーを感じた一時であった